

当院にて看護師による腎代替療法選択説明を受けた方へ

当院では「腎代替療法選択説明を受けた慢性腎臓病患者の実態調査」を行っております。この研究は、これまで看護師による腎代替療法選択説明を受けた患者さんの選択の内容や、選択までの経過や背景を検討することで、慢性腎臓病で腎代替療法や保存的腎臓療法を必要とする患者さんが適切な選択をできるよう実施している調査・研究です。

【対象となる方】

2017年1月～2024年4月までに当院で看護師による“腎代替療法選択説明”を受けた方

【研究の目的・意義】

末期腎不全に対する治療としては、血液透析、腹膜透析、腎移植の3種の腎代替療法と保存的腎臓療法があり、各患者さんが選択をしています。医療者はその選択を援助する職務を担っています。過去に説明を受けた患者さんの背景や選択過程を調査することで、今後のより適切な説明に役立てることを目的としています。

【研究の方法】

この研究は、厚生労働省が示した「臨床研究に関する倫理指針」を守り、倫理委員会の承認のうえ実施されます。これまでの診療でカルテに記録されている病気の経過や説明を受けての治療選択の経過などのデータを収集して行う研究です。特に患者さんに新たにご負担いただくことはありません。

この研究のためにご自分のデータを使用してほしくない場合は、下記へご連絡ください。研究に参加されない場合でも、今後の受診や治療に際し不利益はありません。また、収集されたデータは、個人が特定できない形式で厳重に管理されます。研究で得られた成果は学会等で発表されることがあります。

令和6年6月

【連絡先】

JCHO 仙台病院腎センター 佐藤光博、土屋善慎

電話：022-378-9111